# ep28

**说话人1** *00:11*: 卯月君。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 00:11 その心の中でカテゴ。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 00:13 リーレースの時間。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 00:15 チャンスをくれ。ここで6月復。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 00:30 帰しろ。アブゾーブクリーンフュージョンジャー。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 00:56 月目を覚ましたか。自分の心を制御できない人間にライダーをやる資格はない。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 01:16 ベルトをよこすんだ。無駄だよ。ベルトを取り上げても、また彼の元へ戻るカテゴリーエースが彼を選んでしまったんだ。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 01:51 いつか世界中に何故。

**说话人1** *00:11*: 说话人4 01:57 なんです？なぜレンゲルに封印されよう。なんて馬鹿なことしたんですか？ 说话人2 02:59 そうですよ。だって、封印される時に目つきの心分かってればいいですけど。そうでない時はカテゴリーエースの邪悪な力が 说话人3 03:10 ほっとけないじゃないか？あの子1人の若者がカテゴリーエースに操られ、人格を破壊されていく。そんな姿を黙って見ていられないよ。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 03:23 木の6月は。あのままだと邪悪に取り込まれていました。志麻さんのは危険すぎる賭けだ。そんな賭けであなたを失いたくはないし。月をこれ以上危険にさらしたくないんです。

**说话人1** *00:11*: 说话人4 03:43 とにかく、2度とこんな馬鹿な真似はしないでください。クラスの社長にも叱られるし、獲得してくれますね。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 03:56 さあ、朝ご飯にしましょう。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 03:59 立花君のところへ行ってくるよ。あの6月という子がどんな子なのかよく知りたいんだ。彼なら1番よく知って。そうだからね、志乃さん。大丈夫？心配しない？ほら、そんな顔してると、ここに仕上がれて美人が台無しだぞ。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 04:17 え？美人ってどこの好。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 04:19 きなことは心配です。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 04:26 でも、志麻さんが自分を犠牲にするようなことはもういいよ。その話はあの3人にも随分叱られたから。すいません。で、卯月君のことに戻るが、両親のこと以外何かないかな。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 04:46 バスケットボールが好きな高校生。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 04:50 それとガールフレンドが1人、ガールフレンド。

**说话人1** *00:11*: 私が行く。君は無理をするな。島さん。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 05:20 希ちゃん島さん。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 06:01 この子がさっき言ってたぶつけのガールフレン。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 06:03 ドです。何をするんですか？ 说话人3 06:12 さっき会ったことの記憶を吸い取った。卯月君がこんな戦いに巻き込まれてると知ったら、悲しむだろうからね。そんなことができるんですか？あ。

**说话人1** *00:11*: 说话人5 06:35 立花さんですよね。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 06:37 気がついたね。君はこの病院の近くで倒れていたんだ。日差しが強いから当てられたのかもしれない。

**说话人1** *00:11*: 说话人5 06:46 ありがとうございます。お見舞いに来たつもりが。助けていただいたなんて。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 06:54 お見舞い。はい。

**说话人1** *00:11*: 说话人5 06:57 私頼まれてきたんです。睦月から立花さんが入院してるから、見てきてほしいって。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 07:04 あいつがどうやら本当にいい子らしいね。帰ってきて。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 07:28 それでもお前は最強のライダーか。いいかな。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 07:40 ことがほっといてくれ。のぞみよ、なんでのぞみ話って。

**说话人1** *00:11*: 说话人5 07:59 この人が目つきと話したいんだって。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 08:02 悪いね。こんな形で呼び出して。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 08:10 望美。悪いけど、あの人と2人だけしてくれないから、待っててくれ。なぜ1人で君1人で来るの？決着がつけられたのに。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 08:36 それは君の意思か分。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 08:37 からない。だけど、体の奥の方で、あんたと戦って強くなれっていう声が聞こえてくるんです。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 08:50 その声を封じるんだ。そして。この声を聞いてくれ。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 08:57 大好きだよ。

**说话人1** *00:11*: 说话人5 09:02 6月のことがすごく心配。昔の。私の知ってる目つきに戻ってお願い。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 09:11 彼女の心の声を風にしたものだ。カテゴリーエースに支配されようとした時、この声で打ち勝て。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 09:23 カテ。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 09:23 ゴリーエースに打ち勝つ。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 09:33 そんなことが本当にできるのか？ 说话人3 09:36 できるさあ、君の意思次第だ。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 09:39 黙れる 说话人3 10:00 彼は頑張れるかね。橘君、もう帰るのかね？もう少しゆっくりしてったらどうだ？ジョーカー。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 10:22 その名で俺を呼ぶな。おそらく島さんは。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 10:31 自分を犠牲に染みつけよう。それは危険すぎる。

**说话人1** *00:11*: 说话人4 10:35 何してるんですか？駄目ですよ、立花さん。勝手に退院なんて先生の許可をもらないと。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 10:40 すいません。時間がないんです。

**说话人1** *00:11*: 说话人4 10:43 橘さん。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 10:44 奴に封印されるつもりか？ 说话人3 10:48 心配かね。馬鹿な。俺は心配なんだ。だろうね。君にはどんなものにも負けないという自信がある。なぜなら、君自身の存在が最後の切り札だからね。それで？今どういう気持ちだね？君はカテゴリーツーを使い、直前に人間に同化してっている。案外気持ちのいいもんだろう。人間の世界って。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 11:26 俺はあんたのように人間に媚び寄ってはいけない人間になど同化していない。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 11:33 そうかな？君はあの親子を愛し始めている。同じようにぶつき君にも大事な人がいる。私はね、そういう人を適切に思う気持ちに触れるとたまらなくなる。何とかしてやりたい。作りたいって、このおせっかいが私の弱点なんだよな。ナチュラル。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 12:06 希ちゃん。うん？ 说话人5 12:15 あの島さんって人と話して、それから家に戻って携帯かけても全然出てくれなくて。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 12:50 どうしたら。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 12:51 実は自分がコ。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 13:00 ントロールできなくなってるんだ。俺にもそういう時期があった。

**说话人1** *00:11*: 说话人5 13:13 1体どんなことに睦月巻き込まれてるんです？私、知りたい。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 13:19 君は知らない方がいい。君はいつの唯一心を許せる場所であってほしいんだ。志麻さん。遅いなあ。

**说话人1** *00:11*: 说话人4 13:37 昼飯までに帰ってくるって言ったのにね。じゃ、先に食べちゃう。残しといてあげればいいんだからさあ。だめ、正式に志麻さんの歓迎パーティーしてないから、ご馳走作ろうって言ったの。白井君でしょう？言い出しっぺがそんな意地汚くてどうすんのよ？だって。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 13:56 これを預かった。志麻さんから俺に育てろと置いていった。迷惑だから、返しに来て。

**说话人1** *00:11*: 说话人4 14:13 どういうこと？ナチュラルは志麻さんの家族みたいなもんでしょ。それはなぜあなたに？ 说话人2 14:20 お前たち人間がのんびり食事の支度をする時。俺たちの戦いは続いてるんだ。勝ち残った者だけが生き続ける。それを知らずに気楽なものなんだよ。まさか、島田さん、またむつきとこのお兄さん、怖かっただろう。もう大丈夫だからね。志麻さん、探してあげるからね。ここは任してくれないか？朽木。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 15:19 お前どこに行くんだ？ 说话人1 15:33 今度こそ。彼に会うのはよせ。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 15:39 雑魚の相手はまだ続ける。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 15:47 変人アン。

**说话人1** *00:11*: 说话人4 15:51 デッド。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 15:57 しまさん。そんな。橘さん、無茶しないでください。すぐ行きます。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 16:06 俺は大丈夫だ。それより、ぶつきか。普段のことが向かった。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 16:10 やっぱり。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 16:10 ぶっちを。島さんを探せ。2人を止めてくれ。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 16:15 島田さん。木村さん。来たな。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 16:49 カテゴリーエース。ようやく誰にも邪魔すれず決着をつけることができそうよ。

**说话人1** *00:11*: 说话人5 16:56 好きだよ。大好きだよ。大月君。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 17:13 好きなことが思い出すんだ。

**说话人1** *00:11*: 说话人5 17:15 昔の私の知ってる目つきに戻って。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 17:34 少し貯めつけてから出ないと風の声が聞こえないようだね。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 17:47 大丈夫。志麻さん、きっと見つかるよ。

**说话人1** *00:11*: 说话人4 17:49 内戦でカテゴリーキング。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 17:55 志麻さんのやめるんだ。邪魔をするな。シマさん、チャンスを負わすわけにはいかないんだ。ナチュ。

**说话人1** *00:11*: 说话人4 19:26 ラルがナチュラルが逃げた。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 19:32 浦島さん。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 19:43 早まった真似をした。チュ、好きだよ。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 19:59 大好きだよ。大好きのことがすごく心配。昔の、私の知ってる睦月に戻って。お願いします。しばさん、のぞみ、今だしまさん。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 21:01 私を封印します。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 21:03 チャンスを逃すな。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 21:06 世の中を平和にしたいんだよ。誠意のために戦いたいんだろう。封印しろ。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 21:18 早く着け。その。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 21:51 カードを渡せ！ 说话人1 22:25 仮面ライダー、ブレイク、一緒に来い。私に力を貸してもらおう。

**说话人1** *00:11*: 说话人2 22:30 お前は俺になる。

**说话人1** *00:11*: 说话人1 22:32 俺はお前になる。今からお前は見た。見るようだ。あいつはもう2度と自分に戻すことができないか。

**说话人1** *00:11*: 说话人3 22:38 もしれない。。